



かけ橋

秋田県立能代支援学校
No. 72
令和2年7月10日(金)

おしえて！ 専門監①

今年度の『かけ橋』では、日々の指導や支援のヒントとなる内容について、本校教育専門監からのコラムを掲載します。

「新しい生活様式」を取り入れた学校生活がスタートし、指導の工夫も一層求められています。この機会に指導の基礎基本について再確認していきたいと考えています。

おとなの言葉 と こどもの心



子どもたちと一緒に過ごす私たち大人は、教師として、または親として、あるいは関係する支援者として、子どもが、自分の力で充実した生活を送れるように育てたいと願い、子どもの気になるところを改善したいと思っていますし、子どもが困らないで過ごせるように育てたいとも思っています。

だからでしょうか、私たち大人は、自分の思うように育てたい思いが強すぎると、子どもに「～しなさい！」「自分でやりなさい！」「それじゃだめでしょ！」などと、強い指示や注意、叱責で、従わせようとする指導やしつけをしてしまいがちです。行動を改めようとして「怒りすぎる」と、子どもとの関係を悪くしてしまいます。残念ながら、子どもは、ますますそんな大人の言うことを聞こうとしないでしょう。

子どもが「聞く耳をもつ」ためには、子どもと良い関係でいることが前提になります。良い関係であれば、そばにいる大人が自分にとって味方だと思えるので、居心地がいいし、幼児であれば、一緒に過ごす楽しいから「一緒にいようね」と誘うと、そばに座っていられるでしょう。「一緒に行こうね」と誘うと、手を取って歩くことでしょう。不安な状況や危険な場所でも、一緒にいることで、手を握ることで、安心できるでしょう。子どもが「聞く耳」をもって、いざというときの注意も聞き入れやすくなるでしょう。



そこで提案です。怒る言葉を言い換えてみましょう。子どもが言うことを聞かないので怒ってしまうのですから、言うことを聞かせようと命令や強い指示をするのではなく、「お願いをする」のです。「～しなさい」ではなく、「～してくれないかな？」とか「～してくれるとうれしいな」などと丁寧に話して、そのようにできたら「ありがとう」と返しましょう。子どもは、感謝されることで役に立った喜びを感じることでしょう。そして、その大人からの言葉をおだやかに聞く気になることでしょう。

教育専門監 小笠原英紀

相談支援 開始しました！

緊急事態宣言が解除され、コロナ対策を講じながら巡回相談等で学校を訪問させていただいております。「相談したい」「情報がほしい」「気になる」などがありましたら、本校までご連絡ください。

中学生からの職業教育の充実

「特別支援学校就労・職場定着促進事業」の紹介

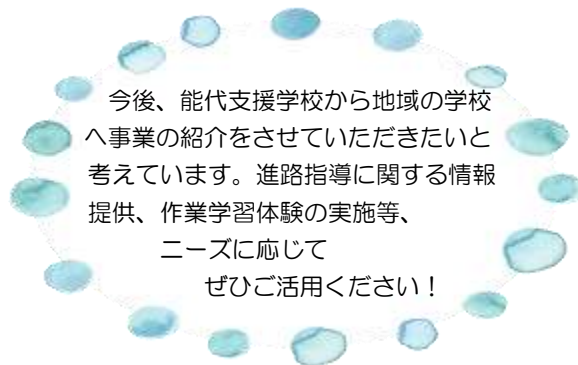
今年度、秋田県では「特別支援学校就労・職場定着促進事業」を実施しています。事業内容の一つには「中学部段階からの職業教育の充実」が挙げられており、中学校の特別支援学級もその対象となっています。

事業目的<抜粋>

- ・事業所の障害者理解を深め、職場定着につなげる。
- ・職業教育を充実させ、一般就労希望者の増加を図る。

事業内容<特別支援学校から地域の学校へ>

- ・特別支援学校における職業教育の内容などに関する**情報提供**
- ・**作業学習を通じた交流及び共同学習の実施**



自分の力で できることを増やそう

本校寄宿舎『パワーアップブック～生活編～』の紹介

寄宿舎の指導では、卒業後の自立と社会参加に向けて、集団生活を通して人との関わりを豊かにし、身の回りのことは自分でできることを目標としています。生活指導の手引き『パワーアップブック』は、児童生徒自身が自分で内容を確認できるよう、写真やイラストとともに手順を示しています。保護者に紹介し、家庭生活においても参考にさせていただいています。

記載内容

- ①起床・就寝 ②食事 ③洗面 ④歯磨き ⑤手洗い・うがい
- ⑥身だしなみ ⑦洗濯 ⑧衣類のたたみ方 ⑨**整理整頓**
- ⑩コミュニケーション ⑪入浴 ⑫排せつ など



↑ 整理整頓の項目から
～片付け方の工夫例～

病気の子ども、クラスにいませんか？

「病弱教育」の対象となる児童生徒のほとんどは、通常の学級に在籍しています。

- ・入院や自宅での静養、定期通院が必要なため、欠席が多い
- ・体調が整わないために授業への参加が難しかったり、長期に欠席したりしている
- ・登校しているが、健康面や身体面、活動ペースへの配慮が必要である

病気により学習や学校生活に不安を抱えているケースはありませんか。病気の子どもに対する支援についての情報提供や相談支援も行っています。

<病弱教育の対象例>

- ・心臓病 　・腎臓病
- ・糖尿病 　・筋ジストロフィー
- ・てんかん 　・肥満症
- ・起立性調節障害
- ・アレルギー 　など

☆特別支援教育に関わる情報提供や相談等、お気軽にお問合せください。

教頭 伊藤登美子 教育専門監 小笠原英紀
地域支援部主任 船山 真生

TEL 0185-55-0691 FAX 0185-55-0681

ホームページ <http://www.noshiro-s.akita-pref.ed.jp>

E-mail noshiro-s@akita-pref.ed.jp

地域支援に関する
詳しい情報は、
本校ホームページ
をご覧ください。